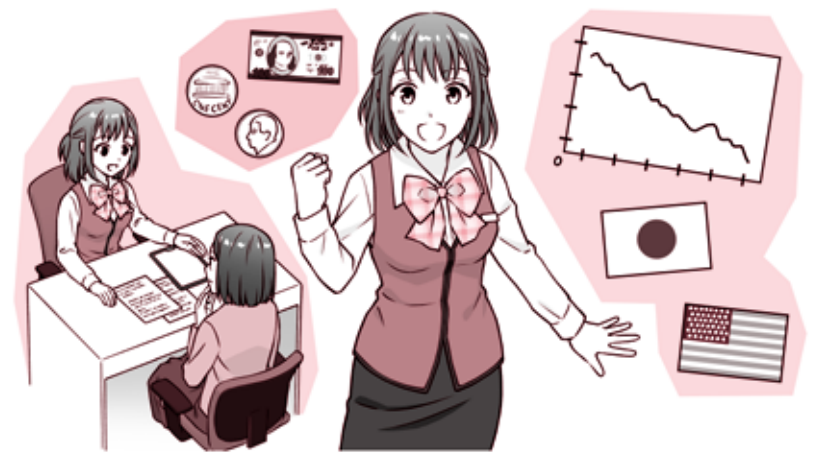


特集

インフレ・円安のいま 求められる

マーケットの説明法

運用提案につなげる市場環境の正しい伝え方



インフレ・円安が進むいま、担当者にはお客様へマーケットの仕組みや背景を正しく伝えることが求められています。そこで本特集では、これらの基本をおさえたいうえで、預かり資産提案につなげるために市場環境や経済動向などをどのようにお客様に説明すればよいかを解説します。

Q&A インフレ・円安についての 基礎知識を理解しよう

ここではまず、インフレや円安などマーケットの動きに関する基本的な知識について、Q&A方式で解説します。

ノット・アドバイザーズ 代表
上村 武雄

Q1

インフレって何？ どうして起こるの？



インフレーション（インフレ）とは、経済において財とサービスの価格が上昇していく状態を指します。言い換えれば、皆さんが保有しているお金の価値が下がり、結果、購買力が下がることも言えます。

インフレで物価が倍になるということは、インフレ前は1つ100円で買ったアイスが、インフレ後は200円になるということです。100円玉ではアイスが買えなくなり、結果として預金残高が減っているのと同様の状況になります。

インフレの原因は、非常に複雑です。短期的なインフレの最大要因は需要圧力だと言われています。これは、「デマンドプル型インフレ」と呼ばれてお

り、経済全体の需要増加による物価の上昇を指します。具体的には「買いたい人が増えているのにモノがない」「サービスを受けたいのに受けることができないため価格が上昇していく」ということです。

災害や資源の枯渇により物価が上昇するインフレも

一方で、生産コストの上昇や、自然災害または資源そのものの枯渇などが原因となる供給量の低下による物価の上昇を、「コストプッシュ型インフレ」と呼びます。最も顕著なものは商品（コモディティ）価格の上昇です。これは、企業がコストの上昇分を商品価格上昇という形で、消費者に転嫁することに

よって発生します。高い雇用水準が賃金上昇をもたらし、インフレにつながる場合もあります。労働者は賃金上昇により購買力が増し、一時的にモノやサービスに対する需要が供給を上回るため、生産者が値上げを行うという状態です。賃金上昇分を商品価格に反映させるといふ側面も価格上昇を加速させます。

また、為替の動きもインフレに影響を与えます。ある国の通貨が安くなれば、その国では輸入品の価格が上昇し、物価が全般的に押し上げられます。

「コストプッシュ型インフレ」と呼びます。最も顕著なものは商品（コモディティ）価格の上昇です。これは、企業がコストの上昇分を商品価格上昇という形で、消費者に転嫁することに

よって発生します。高い雇用水準が賃金上昇をもたらし、インフレにつながる場合もあります。労働者は賃金上昇により購買力が増し、一時的にモノやサービスに対する需要が供給を上回るため、生産者が値上げを行うという状態です。賃金上昇分を商品価格に反映させるといふ側面も価格上昇を加速させます。

また、為替の動きもインフレに影響を与えます。ある国の通貨が安くなれば、その国では輸入品の価格が上昇し、物価が全般的に押し上げられます。他にも貨幣供給量、つまり現金などすぐに使えるお金の流通量の増加も挙げられます。リーマン・ショックや新型コロナウイルスの経済ショックを緩和するために、各国中央銀行が大量に資金を市場に供給した結果、市場に資金が余剰となり価値が下がるといったこともインフレに直結します。